

県医労新聞

2017年9月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>

編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1927号(月刊141号)



第63回日本母親大会 in 岩手(8月20日 全体会 盛岡市夕力ヤアリーナ)

目次

- 1 P 原水爆禁止2017年世界大会 in 長崎
- 2 P 人事院勧告
支部定期大会
- 3 P~4 P
女性部ニュース
- 5 P 青年部ニュース
- 6 P つぶやき、とんがらし
7月号パズル当選者
- 7 P お知らせ
 - ◇県医労第158回中央委員会
県医労秋年末中央決起集会
 - ◇フレッシュセミナー
 - 懸賞パズル 9・10月の予定



各県の代表がプラカードを持って登壇、アピール(同上)

核兵器のない平和で公正な世界へ

原水爆禁止世界大会・長崎



壇上スピーチに参加する岩手県青年代表団

長崎に原爆が投下されて72年。7月に歴史上初めて核兵器禁止条約が採択された最初の原水爆禁止世界大会in長崎が8月7日～9日開催されました。岩手県代表団は41名、県医労からは2名が参加しました。

7日の開会総会は長崎市民会館体育館を会場に約6千人が参加。「核兵器禁止条約交渉会議」をリードしてきた中満泉・国連軍縮上級代表をはじめ被爆者、各国政府・海外代表、国内の反核・平和団体、国民平和大行進者などが集結しました。中満さんは、「条約の核心は核兵器を否定し、それを国際法として成文化



軍縮担当上級代表 中満泉さん

した点にある」と指摘。条約が被爆者の苦難に触れたことを紹介し、「条約は被爆者のみなさんの長年の取り組みが結実したものだ」と強調しました。参加者の発言は、いずれも禁止条約の画期的な内容が語られ、今後の運動へ向けて確信を深め、勇気づけられるものでした。

2017年の世界大会は、核兵器禁止条約を手にした喜びと、それを力に「核兵器のない世界」へ前進しようという決意した参加者が世界と全国から集う、熱気あふれる感動的な大会となりました。

◆原爆投下時は劣悪な環境で医療行為がされていた現状を知りました。自身も被曝している状況の中で、患者優先で治療・看護した当時の医療従事者はどれだけ辛かったか。整った環境の中で医療ができる今の私たちはとても幸せだと感じました。平和でなければ充実した医療はできません。

しかし、平和な日常が突如失われる可能性はゼロではありません。世界中に多数存在する核兵器は人々の幸せを奪う可能性を持っています。

世界の国々が核兵器廃絶

という意識を常に持ち、一人ひとりがその意思を発信していかなければと感じました。

二戸支部

〇〇〇〇



「平和祈念像」前で

◆初めて参加した世界大会は、核兵器廃絶を願いつける国内外の人々の熱気とパワーで溢れていました。原爆が投下されて72年後、ようやく国際法として採択された核兵器禁止条約は「核のない未来」の実現のために命を賭けて活動を行ってきた日本原水協や被爆者団体の努力の結果だと知りました。しかし、核兵器廃絶の道のりの中でも難しい現状を知ることにもなりまして。この体験を同世代に引き継ぎ、未来へ繋ぐ役割を果たしていく責任を感じました。

本部 〇〇〇〇

国家公務員への人事院勧告

4年連続、プラス改訂へ

月例給・一時金、一方で課題も

人事院は8月8日、国家公務委員の賃金等に関して、4年連続となる月例給と一時金の引き上げを勧告しました。今回の勧告は、春闘を起点とした賃上げサイクルが定着してきたことを示すものです。

官民格差六一〇円(民間が高い)に基づいて、初任給で千円、最低でも四百円の月例給の引き上げ、一時金〇・一ヶ月の引き上げな

どとなっております。しかし、生活改善にはほど遠い金額であり、臨時・非常勤、再任用職員への処遇改善などが不十分なままとなっております。

また、「総合的見直し」を完成させ、中央官庁・官僚への優遇となる、本府省業務調整手当の引き上げなど、地方・現場で働く国家公務員への賃金差別が拡大されました。

県公務共闘・いわて労連は連名で、低額勧告は「アベノミクスの破たんをあらためて示した」「安心して公務に専念できる賃金労働条件実現のため、引き続き住民との共同を広げ奮闘していく」とする声明を発表しました。

岩手県人事委員会の勧告は、例年十月に予定され、要請行動や「大型ハガキ」など取り組みを進めます。



退職金手当 引き下げ阻止

現在、内閣人事局で退職手当見直しの検討が進められています。現時点では「人事院見解どおり78万1千円

の格差解消をする必要がある」、「格差解消は調整率の引き下げによる基本額の引き下げによって行う」、「段

支部定期大会



中央支部 8月23日



江刺支部 7月27日



階的引き下げはしない」、「臨時国会での成立後速やかに実施」などの議論がさされ、国家公務員の退職手当に引き下げをねらっています。

政府は、8月15日に給与関係閣僚会議を開催し、人事院勧告に対する方針について検討を開始しています。9月下旬招集予定の臨時国会時において、人事院

勧告を踏まえた給与法の改定と併せて退職手当法改正案を提案する可能性がります。この場合、私たちにとつても5年前と同様に、今年度退職者を含めた引き下げ提案がされる可能性があります。これを阻止するために、具体的な取り組みが今後提起されます。退職手当引き下げ阻止に力をあわせていきましょう。

子どもたちへ

第63回日本母親大会 in 岩手



記念講演



講師の安田菜津紀さん

3・11以降、岩手沿岸と深いつながりのある安田さんは、東日本大震災当時の自身の体験を紹介。「震災後、陸前高田の一本だけ残った松を撮影しましたが、義理の父の言葉は予想外だった。『あなたのようにネ、7万本の松と一緒に暮らして

こなかった人は、希望に見えるかもしれないが、一緒に暮らしてきた人は、たった一本しか残らなかったと思う。見ていてつらくなる』。誰のために何のために撮っているのか考えさせられた、大切な言葉だと語りました。中東シリアの内戦状況の中「写真で人の命を救うことはできない」と悩んだ時、NGOのスタッフに「撮影し世界に発信するのが役割だ」と励まされた。日本母親大会は、役割を持ちより集まった尊い場だと結びました。

「生命を生みだす母親は生命を育て 生命を守ることをのぞみます」のスローガンを掲げ、毎年開催されてきた日本母親大会。1日目は、特別企画・被災地訪問の他、25のテーマ

で分科会が開催されました。2日目の全体会では、来賓として県知事と盛岡市長がそろってあいさつ。現職の知事と市長からあいさつをいただいたのは、歴史的にも初めてのこと。その

8月19〜20日、29年ぶりに岩手で開催された日本母親大会は、全国から2日間でのべ1万7百人が集い大きな成功をおさめました。準備にあたってこられた開催地岩手の実行委員会と、当日の要員の方々に多くの感謝とねぎらいの言葉が寄せられました。県医師の参加は、20支部・本部237名でした。参加されたみなさん、送り出してくれたみなさん、大変ありがとうございました。

紹介がされると盛岡タカヤアリーナの会場は、更に大きな拍手に包まれました。「核戦争から子どもを守りたい」と始まった母親大会。今大会は「国連で『核兵器禁止条約』が採択された最初の大会」であることも確認できました。

「今日の運動」では、岩手のたたかい、続いて全国のたたかいが紹介され、大会決議を採択して全体会を終了しました。全体会でのオープニングは、県立花巻農業高校鹿踊部による春日流鹿踊、午後の部の最初に行われた文化行事では盛岡さんさ踊り清流によるさんさ踊りが披露され、会場を沸かせました。会場の三方が、みんなの要求を集めた「つぶやきカード」2万枚で賑やかに彩られました。



県立花巻農業高校生による鹿踊



午後の開会は盛岡さんさ踊りで入場

平和で明るい未来を **圧巻** 全国からべ1万7百人!!

【被災地訪問】 母親大会の特別企画は岩手・宮城・福島3県の被災地訪問。本県のコースには全国から300人を超す参加がありました。7台のバスのうち、4台は陸前高田市内を巡るコース、3台は三鉄乗車コースに分れて、見学しました。陸前高田市コミュニティホールでは戸羽太市長が講演。県内で一番被害が大きかった陸前高田市の当時の様子や、市長自ら被災した中での奮闘に、参加者は涙しながら聞きました。その後、三鉄コースは、ボランティアの方から説明を受けながら、約1時間電車によって見学。「防災意識をもつことの大切さを感じた」「参加して良かった」など多くの声が寄せられました。



行列のできるしゃべくりカフェ(アイーナ)



陸前高田市コミュニティホールにて



講演する戸羽市長



特別企画 啄木、賢治、憲法(マリオス)



三鉄に乗って見学



盛駅から乗車



憲法施行70年(岩手大学)



要員も大奮闘!!「いろいろ声をかけられました」

【県医労参加者の声】

- @ たくさんの方に「岩手はすごいね〜」と声をかけられた。大成功だと思ふ。
- @ 要員のみなさんの元気なおもてなしに感激した。
- @ 楽しく参加した。物産展ではお土産を買って喜ばれた。全体会では、何度もウルウルした。感動した。
- @ 初めての参加者も多く、さすが母親大会と思った。ファンになった。
- @ 90歳にはなると思われる女性が二人、手をつないで会場に入っていた光景に心動かされた。
- @ 一体となった全体会の会場にいられる喜びをかみしめて、震える思いがした。

県医労青年部第60回定期大会

ハラスメントはしない!させない!

意識の連鎖で働きやすい職場づくり!



この新役員メンバーで一年間がんばります!

青年部定期大会は、7月29日(土)～30日(日)、雫石町「ホテル森の風鷺宿」を会場に、代議員(22名)・オブザーバー(6名)を含む14支部・本部41名の出席で開催されました。

大会議事に入る前に、日本医労連青年協の保科雄治さんを講師にむかえ、ハラスメントについての学習を



日本医労連青年協議会 保科雄治さん

行いました。日本医労連で行ったアンケートの調査結果を示しながら、「ハラスメントが及ぼす損失・影響は甚大であり、若年層の離職原因の一つとも考えられる。なくしていくためには私たち一人ひとりがハラスメントをしない、させないという意識を持つことが大切、みんなで働きやすい職場をつくっていきましよう」と呼びかけました。

大会には、岩手医労連から藤原裕樹副青年部長が駆けつけ、激励のあいさつをいただきました。

執行部からの運動方針等の提案後、参加全支部から支部青年部の取り組みや職場の状況、8月に愛知県で開催されるアクトイン

2017年度青年部役員

役職	氏名	支部
部長	〇〇〇〇	中部
副部長	〇〇〇〇	南光
書記長	〇〇〇〇	書記局
委員	〇〇〇〇	二戸
	〇〇〇〇	一戸
	〇〇〇〇	中央
	〇〇〇〇	本庁
	〇〇〇〇	遠野
	〇〇〇〇	江刺
	〇〇〇〇	南光
	〇〇〇〇	釜石

サマーや来年岩手開催となる、みちのくアクトなどについての発言がありました。

役員体制では、〇〇〇〇青年部長が退任し、新部長に中部支部の〇〇〇〇さんが選出されました。また今年度は5名が新しく役員に選出されました。

夕食交流会は、8月に長崎で開催される原水爆禁止世界大会に参加する二人が司会を努め、ビンゴゲームやカラオケで交流を深めました。



〇〇青年部長! おつかれさまでした!



2人で長崎は行ってきます!



ゴスペライズを熱唱



〇〇新青年部長(左)

びびり

暑い中、看護師、補助者ともに汗をかきながら、協力して働いています。みんな、倒れないように夏を乗り切っていきたいです。

江刺支部 みかん太郎

九州豪雨では大きな被害が出ました。毎年のように豪雨被害が起きている気がします。温暖化の影響でしょうか。

大船渡支部 はなちゃん

「ワークライフバランス」と最近よく聞きますが、いろいろな意味で「ワーク」が崩れているように感じます。働きがいがない職場は「ワーク」が崩れている…。

高田支部 夢子

夏バテなのか、とにかく疲れきっています。「疲れた、

疲れた」。何度言っても疲れたとれることはなく、「休めたー！」っていうお休みがほしいです。年次をお願いするのにな（自分の休みのなになに）、どうしてこんなに神経がすり減るんでしょうね…。

宮古支部 みたママ

夏休み、取り始めていますね。みんなで連休取りたいです！

中央支部 ぼっちや

原爆投下から72年、胸が

つまる思いです。これから平和であってほしい！

南光支部 おりづる

久しぶりにさんさに参加しました。天気にも恵まれ、とても楽しかったです。

中央支部 ミルンちゃん



当選者発表

7月号パズル

7月号パズル「まちがいは7つ」には23名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

7月号当選者(敬称略)

夏休みがほしい、二戸おでんせ(二戸支部)、じゃがいもの花、しらたき、おむすびまん、草とりオバサン、トマトおろしそうめん(以上、中央支部)、ひまわり、シラネアオイ(南光支部)、コロちゃん(大船渡支部)

とんがらし

コートジボワールという国は、反乱によるクーデターが失敗に終わった2002年以降、北部・南部で対立し内戦を繰り返して来ました

▼2005年10月のブラジルW杯予選の試合後、ロッカールームにカメラマンを呼び入れて、選手全員で膝まずき「北も南も、西も中央もない。コートジボワールはひとつです。この豊かな国を、戦争の犠牲にしてはいけません。武器を置いて、心をひとつにしよう！」と主将のデイディエ・ドログバ選手が語りかけました。代表チームは、宗教も出身地も異なる人ばかりですが、一致団結してたたかう姿を国民一人ひとりが自分たちになぞらえて「結束」を思い起こすように訴え続けた結果、

内戦は終結し平和が訪れました▼1954年3月1日、アメリカによるビキニ環礁での水爆実験によって23名の漁夫が被曝した真相を伝えるとともに、平塚らいてう他5名は「原水爆禁止」を世界に訴えました▼それから63年経った2017年7月7日、「核兵器禁止条約」が採択されました。日本原水協や被爆者団体の運動はもろろんですが、核兵器禁止を訴え、願った母親の運動が実を結んだ結果です。これまでも脈々と受け継がれてきたたたかう姿や揺るがない決意を29年振りに岩手で開催された日本母親大会の会場から感じる事ができました▼1人の行動は世界を変えられる！核兵器のない平和な未来を創っていききたい。それぞれが思いのパスを受け継いで、「平和」という最高のゴールを決められるように。(り)

フレッシュ セミナー

とき 10月28日(土)
～29日(日)

ところ「ホテル森の風鷺宿」

温泉でリフレッシュ!
そして労働者の
権利を学ぼう



県医労第158回中央委員会

とき 10月21日(土)
10時～16時

ところ サンセール盛岡

県医労秋年末中央決起集会

とき 11月9日(木)
10時30分～12時

ところ 県公会堂21号室



上下どちらかの絵に7つ
の間違い箇所を印をつけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で10名の組合員に図書
カードを送ります。送先
は〒020-0023 盛
岡市内丸1-1、県医労「懸
賞パズル」係まで。締切は
9月末日(必着)です。ま
た、抽選には関係ありませ
んが、ハガキの余白に「つ

懸賞パズル



まちがいは7つ



「ぶやき」職場の話題など何
でもを、ぜひ一言お書き下
さい。県医労新聞で紹介す
る場合がありますので、匿
名希望の方は必ずペンネー
ムをお書きください。ただ
し、当選した場合は、記念
品の送り先が必要となりま
すので、支部名・本名の記
入をお忘れなく!

9月の予定

- 2日(土)～3日(日) 岩手医労連第70回定期大会(ホテル大観)
- 6日(水)～7日(木) 2017年度秋看護要求実現全国交流集会(伊東)
- 9日(土) 第29回いわて労連定期大会
- 13日(水) 県医労書記研修会(サンビル)
- 16日(土) 県医労支部長会議(水産会館)
- 22日(金) 県医労給食問題研究会(宮古病院)
- 24日(日)～25日(月) 2017年共済推進全国交流集会(第1回、京都)
- 30日(土) 県医労登山(三ツ石山)

10月の予定

- 4日(水)～5日(木) 2017年共済推進全国交流集会(第2回、京都)
- 5日(木) 県医労女性部長会議
- 13日(金) 岩手医労連第31回女性部定期大会(水産会館)
- 14日(土) 岩手医労連青年部定期大会(県民会館)
- 14日(土)～15日(日) 第62回はたらく女性の中央集会 in 東京
- 19日(木) 国民集会(東京)
- 21日(土) 県医労第158回中央委員会(サンセール盛岡)
- 28日(土)～29日(日) フレッシュセミナー(ホテル森の風鷺宿)

